

# Jurltrakrantio lineparine fua tletlenen lersseer

中級者のためのリパライン語講読

はじめに

- 本購読教材では様々なリパライン語文章を自力で読めるようになることを目標にしています。

# 更新履歷

XXXX/XX/XX

# 目次

はじめに	1
更新履歴	2
目次	3
1. スキュリオーティエ叙事詩の講読	4
1.1. スキュリオーティエ叙事詩について	4
1.1.1. 本講座について	4
1.1.1. スキュリオーティエ叙事詩の社会情勢	5
1.1.3. 書いている時代と書かれた時代と訳された時代	6
1.2. 第四章の購読	7
1.2.1. 馬の涙節 Dodor'd li'este	7
1.2.1.1. «Skyl.4:1 1» より	7

# 1. スキュリオーターイエ叙事詩の講読

## 1.1. スキュリオーターイエ叙事詩について

### 1.1.1. 本講座について

本講座ではリパライン語をある程度やったことがある方が更にリパライン語の力を付け、原文を読解できる力を付けることを目的としています。

具体的にはあらずじにも書いてあるとおり、

初学者のためのリパライン語：

<https://drive.google.com/file/d/1RwtPFMu7-ckelB2WKbdxYQGTAZ8xxQAb/view>

異世界転生したけど日本語が通じなかった(第二部まで)：

<https://kakuyomu.jp/works/1177354054883808252>

を読了したレベルの方が読むのに適していると思われます。

本講座を読んでいくことによって、

- ・リパライン語の読解能力を向上し、原文をより直感的に理解できるようになる。
- ・リパライン語の言語文化的に重要なスクュリオーターイエ叙事詩を中心に異世界ファイクレオネの文化を理解する。
- ・叙事詩好きのシャリヤちゃんがあなたの目の前に転生した際に話すネタを作る。

といったことが出来ることでしょう。

「異世界転生したけど日本語が通じなかった」を第二部で読むのを止めた人も、本講座を読み進めることで登場人物たちの発言が手にとって分かるようになることでしょう。

本講座を読む際には

文法書：

<http://jurliyuuri.com/lineparine/>

辞書：

<https://sites.google.com/site/3tvalineparine/pei-bu#TOC--5>

を開いて、参照しながら読むことを強く推奨します。

### 1.1.1. スキュリオーターティエ叙事詩の社会情勢

共に読んでいく『スキュリオーターティエ叙事詩』(理: Skyli'orti'e'd xendusira)は古代ファイクレオネ時代の騒乱を描く叙事詩です。

スキュリオーターティエ叙事詩を読み解くにはある程度、当時の社会情勢を知っておく必要があります。

舞台である紀元前ピリフィア一暦4504年はファイクレオネの東方に根付くらネーメ人の王朝「アレス王朝」による封建制が確立していました。

王朝の内部は複数の藩国に分かれ、それぞれの藩主が国を治めていました。

藩国の防衛はヴェフィサイトと呼ばれるリパラオネ民族であるヴェフィス人を中心に組織される武人集団が行いました。

この叙事詩の主人公であるユフィア・ド・スキュリオーターティエ・ユリア(Yfia de Skyliautie ylia)もラネーメ系民族の貴族家が治めるナジャールトという藩国のヴェフィサイト「スキュリオーターティエ家」の一族の一人でした。

王朝の藩国同士が睨み合う情勢の中、

紀元前ピリフィア一暦4490年にラネーメ民族系であるアイル藩国のヴェフィサイトがリパラオネ民族系であるアルザツツァ藩国の藩主を弓で射殺したアルザツツァ事件を皮切りに王朝の南北が互いに反目するようになっていきます。

ナジャールト藩国のヴェフィサイトの少女であったユフィアはこの争乱の中で攻めてくるゾルキヤ藩国に対して多くのものを失い、そして戦うことを決心します。

スキュリオーターティエ叙事詩はそんなユフィアがラネーメ王朝の平和を取り戻すまで中心に描く物語です。

### 1.1.3. 書いている時代と書かれた時代と訳された時代

非常に面倒なことにスキュリオーティエ叙事詩自体は確かに紀元前ピリフィア一暦4400年代に実在したユフィアというヴェフィサイトを描いているのですが

実際のところ、これが書かれたのは紀元前ピリフィア一暦1995年になってからなのです。

スキュリオーティエ叙事詩は当時の統治機構であるADLP(リパライン学会)の支持を受けながら、各地の口承をまとめスキュリオーティエを中心に編纂されたものという体裁を取っているのです。

そのために編者であるアリテ・ド・スキュリオーティエ・アテニアが史実と異なる描写の仕方をするなど言わばその時代らしい誤認や書き換えが行われていたりするのです。

その上、本講座で取り扱うリパライン語の詩はピリフィア一暦1530年に活躍した詩人であり、考古学者のエスポーノ・ドーハによる現代語訳です。

ドーハは叙事詩の翻訳の後、戦争に巻き込まれることになり、遺跡の調査中であった1552年に戦闘の流れ弾を受けて亡くなってしまいます。

古理語版、古ヴェフィス語版のスキュリオーティエ叙事詩の原本は戦火によって散逸しており、残ったのはドーハの訳のみとなってしまったのです。

ドーハの訳であれスキュリオーティエ叙事詩はリパラオネ人の民族叙事詩・リパラオネ教の宗教叙事詩・ヴェフィス人の英雄叙事詩として長く愛されてきました。

本講座を読んで、リパライン語だけでなくそういった多面性を味わってもらえれば幸いです。

---

【スキュリオーティエ叙事詩について】

<https://sites.google.com/site/skyliautie/>

<http://www.jurliyuuri.info/wiki/%E3%82%B9%E3%82%AD%E3%83%A5%E3%83%AA%E3%82%AA%E3%83%BC%E3%83%86%E3%82%A3%E3%82%A8%E5%8F%99%E4%BA%8B%E8%A9%A9>

【ユフィア・ド・スキュリオーティエ・ユリア】

<https://sites.google.com/site/riparaincangku/yuesureone-ren-gong-shi-jie-she-ding/li-shi/phile rl/mp/yfia>

【リパライン文学史概説】

<https://sites.google.com/site/jurliibooks/c/1/ll>

## 1.2. 第四章の購読

### 1.2.1. 馬の涙節 Dodor'd li'este

#### 1.2.1.1. «Skyl.4:1 1» より

##### 【原文】

La skyli'orti'e'd fesela's xuto fajj  
Kreosa'd cahkalendi'a'st paskafasar'ct  
ison pisyk skyleu's la tama'd nikan leus.

##### 【模範訳】

スキュリオーティエ家の血統は次の通り  
クレオスのサフカレンディアを始祖とし  
スキュリオーティエ家が興ったことは伝承家のタム・ニカンにより伝えられている

\*\*\* \*\*

"La skyli'orti'e'd fesela's xuto fajj"

「la」は後の単語を名詞化する前置詞です。詩では良く出てくる単語ですが、実際のところ調子を合わせるために入っている場合がほとんどで今回もそのパターンようです。

「skyli'orti'e'd」は「skyli'orti'e」と「-d」の二部分に分けることができます。「Skyli'orti'e」はスキュリオーティエ家を指し、この叙事詩のユフィア章の主人公であるユフィア・ド・スキュリオーティエのお家を指します。「-d」は格接辞で属格を表すものです。

「fesela's」は「fesela」と「-s」の二部分に分けることができます。「fesela」には複数の意味があり、「系統、システム」などと「系譜、血統、家系」の二つの意味を主に表します。語源にもあるように中核的な意味は「繋がりがあって流れ行くものの一本の線」のようなものでしょう。「-s」は主格を表す格接辞です。

「xuto」は「xut」と「-o」の二部分に分けることができます。「xut」は「以下の文章、下記の、続く」などを表す形容詞で、今回はそれに名詞を表す語尾「-o」が付いて「ny la lex」のような意味を表しているようです。

「fajj」は「fai」と「-j」の二部分に分けることができます。「fai」は「～によって、～に沿って」という前置詞であり、「-j」は修飾方向反転の接辞でしたので「fajj」で意味は変わらず後置詞になります。

この文の続きにユフィアの血統がどのようなものであるかという文章が続くことを表す文章です。

